

3月5、6日開催

▼各常任委員会での質疑の主な内容は次の通りです。

総務経済 常任委員会

◎総務課所管

説明（複合施設の設計について）

当初、講堂は取り壊して2階建にし、現在の2階建て部分は全体的に改修する計画としていた。しかし、公民館も築40年経過しており、改修するにもかなりの費用が掛かる。そのため、全部解体し、平屋にしても同程度の工事費となることから、新築した方が良いのではと設計者から提案があった。関係する公民館・健康福祉課とも検討しながら、令和2年度の設計にあたりたい。

Q保健センターを分離するということか。

A保健センターも含める。平屋であればエレベーターも必要なく、工事費も下げられる。

Q平屋では、今より狭くなるのではないのか。

A現在の団らん室やボイラー室の敷地も含めると、平屋でもスペースは確保できる。また、公民館と健康福祉課で共用する使い方をすれば問題ない。

Qこの計画に、フィットネスクラブを含めているのか。

A含めて検討している。（会計年度任用職員制度について）

Q人事評価制度は適用されるのか。

A国から指針が出ていないが、実施することになると思う。

Q年齢制限はどうなるか。また賃金はどのくらいになるか。

A年齢制限は現時点では設けていない。賃金は職種により異なる。

（空き家対策について）

Qこれまで村内での利用実績は何件ぐらい

あったか。

A0回。問い合わせはあったが、場所的に希望に沿わなかった。

Q調査後、利活用までの取組に至っていないのではないのか。

A現在、村で空き家バンクの設置準備を進めている。村ホームページを使って、空き家を貸したい人、利用したい人に登録してもらい、有効活用につなげたい。



Q定住してもらうには、村で村有地に住宅を建てて、20年そこに住めば無償で譲渡するといった政策が必要でないのか。

A蓬田中学校周辺は住宅地にということで検討を進めている。今行っている大規模

事業が終わって、状況をしながら解体は進めたい。

◎住民課所管

（国保会計について）

Q令和2年度の予算が5000万円ほど減額になっているが、後期分・介護分を含めないで保険税も減額になるのか。

A医療費については、一人当たりの医療費は若干の増額になっているが、被保険者数の減により総額では減となっている。保険税の仮算定額の結果は、高額な医薬品等を除いた過去3年間の医療費のデータを基に算出された金額となっており、前年度と比較しては減額になっている。

（タクシー利用助成について）

Q制度を理解していない方が多い。どのような周知をしているのか？

A利用者には更新の資料を送付。今後、新規の方には後期高齢者医療保険証送付時に同封して周知する。

また、いきいきサロンなどに出向き、関係部署と連携し周知を図っている。

Q例えば移動販売など、高齢者のニーズに対応してした支援をすべきではないか。

A公共交通活性化協議会においても同様な意見が出された。障がい者等も含め、総合的に考え、庁内のプロジェクト会議の中で検討していく。

（要望）

周知を図り、利用者を伸ばしてほしい。



◎健康福祉課所管

Qちよこつと助け隊の活動範囲は。

Aボランティア登録時に意向を聞いている。また、利用者は利用時に随時確認している。

Q健康診断に、聴力検査を導入することは可能か。

A人間ドックには検査項目としてあるが、受診率は3割程度である。検査機関で実施しているかなどの問題もあるので、調査する。

Q人間ドックが74歳まで伸びたが、効果は。A確定はしていないが、申し込み状況からすると低い。普段から掛かり付けの医療機関を受診していることが大きいと推測する。

◎産業課所管

Q 有害鳥獣対策について、対象動物は。

A イノシシ、アライグマ、ハクビシン、サギ、カラス、カモ。

Q 協力隊員を活用して新しい農業振興を図るときに、ハウス設置補助を予算計上すべきではないか。

A 要望があれば補正で対応する。また、既存の施設の修繕や再利用等の斡旋も新規就農を希望する方に行っていきたいと考えている。

Q 法人のような形であれば事業の継承もスムーズに行えるのではないか。

A 関連する農水省の補助等があるので内容を精査していきます。Q 米の全袋検査は抽出検査に移行するが、野菜類の検査はこれまで同様に実施するのか。

A 同様に実施します。
(要望)
ライスセンター整備

や基盤整備はとても重要。早急に着手して欲しい。

◎地域整備課所管

(公営企業会計への移行について)

Q 独立採算制が強くなるので滞納者に対し給水停止処置などより厳しく行うのか。

A 民間の目線となる部分があるため給水停止取り扱い等については、これまで以上に厳しくなると考えられる。

(意見)

公営企業会計への適用により資産管理において複式簿記となることは、経営の見える化を図ることになるため、良いことだと考える。

Q 価格が上がるなど、住民サービスの低下にならないか。

A 簡易水道については安価に提供できているため、値上はしたくないと考えている。ただ、計画的に施設の長寿命化を図るた

めにも、住民の負担については考えていたきたい。

(要望)

井戸掘削の補助については、ぜひ継続して行ってほしい。

◎教育課所管

Q 小学校のプールの周りのタイルが剥がれていて危険。児童のやけど等の可能性もあるので対応してほしい。

A 修繕については、財源を確保し優先順位を考慮しながら対応していきたい。

Q 公民館の大人の教養講座で、男性の参加を多くしたいのとだが、具体的な内容は。

A 写真撮影上達講座、そば打ち体験講座、DIY、健康ストレッチ等。

Q 中学校のスクールバスの補助が令和2年度で国の補助が終了するため、国に新たな補助を要望してほしい。

しい。

A 新たな補助は難しいと思うが、交付税措置はされているので、財源的には大きな部分である。今後、近隣市町村等の状況を見ながら検討していく。

(要望)

後川グラウンドを整備するにあたり、裏側からの出入り口両脇の側溝蓋を設置してほしい。

A 体育館トイレを洋式に改修してほしい。バスケットゴールを改修してほしい。

【総務経済常任委員会報告】

○現地視察について

三合地区排水路整備工事(鴛子字三合地内)など、村内8か所を現地視察しました。

次の点について要請します。

- ・ 工事に係る監督業務、竣工検査は万全の体制で実施するとともに、工期の遵守が図られること。
- ・ 令和元年度に発生した台風19号の災害復旧を早期に実施すること。
- ・ 第5次平田村総合計画の後期計画について、人口減少・社会経済環境が厳しさを増す中で、優先順位を明確にし、時代の変化や課題を認識し、将来を展望した計画として策定を進めること。

○請願について

「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願」

全会一致で採択



▲村道1065号線道路改良工事の現地視察(上蓬田字馬道地内)

文教厚生 常任委員会

◎総務課所管

Q 複合施設設計は、かなり変更になるのか。

A 委託料に変更はない。今年度は構想段階で、来年度が設計になる。Q 減債基金への積み立てはどう考えているのか。

A 剰余金の2分の1は積み立てなければならぬことから、剰余金の額を見ながら減債基金への積み立てを考える。

◎住民課所管

Q 防火水槽について、当分の間、設置しないのか。

A 石油貯蔵施設立地対策等交付金を3年間は基金に積立てしななければならぬので、当面は実施できない。財政事情も厳しい。

◎地域整備課所管

Q 公営企業会計適用に

ついて、国からの補助などはないのか。

A 今後実施する固定資産台帳などのシステム整備で、交付税措置される公営企業会計適用債などを活用できる。

Q 工事関係が前年度に比べ減額の予算編成となっているが、理由は何か。

A 令和2年度は、台風19号関連の災害復旧事業を重点的に行うための予算編成となっている。

◎産業課所管

Q 荒廃竹林の対策として破砕機等の活用を検討してはどうか。

A 森林環境譲与税を活用出来ないか検討している。

Q 購入したドローンの活用状況は。

A 芝桜まつりでの観光情報の撮影、台風19号の現地調査、荒廃農地の確認等で活用している。

Q 高齢者の一人暮らし

世帯への対策として、移動販売車等の計画は。

A 村でも配食計画はある。予算・人の配置等引き続き検討していく。

Q 道の駅への電気自動車への充電設備設置の計画は。

A 計画はあるが、予算の確保が難しい状況。



◎健康福祉課所管

Q ちよこつと助け隊の傾聴について、話を聴く時間は決められているか。

A 1件あたり1時間から1時間半程度。

Q 敬老会に婦人会の手伝いを頂いているが、新規加入が少なくなっており、役職経験者が再び役員を

任されるところもあると聞くが。

A 行政区によつては、婦人会が解散したところもある中で何とか人を出してもらつて対応している。

事業を無くしてしまふと復活が難しいので、出来る限り続けたい。

◎教育課所管

Q こども園建設に係る懸案事項（人手不足・資材調達）で工期・費用に影響はあるのか。

A 短い単位での人手確保は見通せるのだが、数か月先の影響がどれ位出るのか分からない状況。資材調達も同じ。現段階では、まったく影響がないとは言えない。

Q 体育センターの耐震工事はいつ頃を予定しているのか。

A 文化祭終了後に着手し、2月頃に完了の見込み。

Q 小中学生合同のスク

ールバス運行は可能か。ルート変更はあるのか。

A 朝は可能であるが、帰りの時間帯が違い運用は難しい。補助もなくするので、既存ルートも含め、将来的な観点からより良い方法を探りたい。

Q 中学校の部活動指導者（監督）は先生か、一般の人が指導者になることはできるか。

A 現在の監督は教職員。部活動指導員という制度がある。教員に見合うような人材であることなど一定の制約がある。教師の多忙化解消にもつながるので、指導員を確保できれば良い。

【文教厚生常任委員会報告】

次の点について要請します。

・中央公民館と保健センターの複合施設は、防災機能の位置づけを充実させること。
また、住民ニーズに即した施設の利便性や、将来に向けて維持管理コスト低減を考慮し、誰もが自由に学習でき、健康増進につながる施設とすること。



Q パークゴルフ場の整備。広さはどれくらいか、進入路の改修はないのか。
A 後川グラウンド西側の半面（約9000㎡）、9ホール程度。進入路の改修は、すぐには予定していない。